

事例 15 ミネラルウォーターに白い浮遊物がある。

検査結果：ネオサルトリヤ (*Neosartorya*) [有性世代をもつアスペルギルスの1種]



写真説明：白い浮遊物を顕微鏡で見ると、①のような菌糸だけが見える。これを培地に移し、25℃で1週間置くと②のような白い毛玉状の集落になる。拡大すると③のように見える。これを子のう果という。さらに拡大したものが④で、これをつぶすと⑤のように中からたくさんの子のうが出てくる。⑥は子のうを拡大したもので、子のうは8つの子のう胞子(有性世代)を持っている。⑦は分生子(無性世代)である。

メモ：製造したとき、空調の吹き出し口の近くで封をしていたため、空中のカビにより汚染されたと考えられた。

事例 16 繰り返し使用のペットボトルにカビが発育した。

検査結果：アルタナリア (*Alternaria*)



写真説明：培地に発育したアルタナリアの集落(右)。特徴的なアルタナリアの胞子。

メモ：ペットボトルをよく洗わずに、麦茶用などにくり返し使用し、室温放置すると、カビが発育しやすい。くり返しの使用は避けた方がよい。アルタナリアは果物や穀物を腐敗させるカビの1つで、空中浮遊菌としても普通にみられる。